



カシ 1952年(前期)



マユウ 1959年(前期)



ヒトコバサ 1961年(前期)



ハトムシ 1960年(前期)



オキユビ 1968年(前期)



トコナ 1961年(前期)



オキユビ 1973年(前期)



シソ科? 1968年(前期)



トコナ 1963年(前期)



オキユビ 1967年(前期)

特別展 小磯良平薬用植物画の表現

【前期】9月8日(土)▶10月8日(月)

【後期】10月10日(水)▶11月11日(日)

小磯良平が13年にわたり描き続けた薬用植物画・全172点を
前期展、後期展にわけてご紹介いたします。

※作品はすべて武田薬品工業株式会社 蔵

- 開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 / 毎週月曜日(ただし9/24・10/8は開館、9/25・10/9は休館)
- 入館料 / 一般600円(450円)、高大生400円(300円)
小中生250円(150円) ※ ()内は30名以上の団体料金

- ◆講演会 / 10月7日(日)午後2時～3時30分
「薬用植物画と小磯先生よもやま話」
講師:野口 進氏(日本製薬株式会社常務取締役)
当館2階絵画学習室(定員80名、当日整理券を配布)
- ◆解説会 / 毎週土曜日 午後2時より(約30分)
当館学芸員によるスライド解説

- 主催 / 神戸市立小磯記念美術館、読売新聞大阪本社
- 協力 / 武田薬品工業株式会社

同時開催 / 収蔵作品展 IV(展示室1)

神戸市立小磯記念美術館

KOBE CITY KOISO MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒658-0032 神戸市東灘区内洋和中5-7 Tel.078-857-5880

交通 / JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ。
六甲ライナー「アイランド北口」駅下車西へ徒歩すぐ。
※公園の地下には市営駐車場(有料)があります。



オキユビ 1968年(前期)



中央薬業社発行

1956年 2月号

小磯良平薬用植物画の表現

小磯良平は1956(昭和31)年から13年にわたって武田薬品工業株式会社の機関誌「武田薬報」の表紙絵として毎月1枚、150点の薬用植物画を描きました(第1回掲載分は1955年作)。これらの植物画は、「簡単なスケッチ」として描き始められましたが、次第にその表現は深まりをみせていきます。そして、1971(昭和46)年には薬学博士 刈米達夫氏による薬効の解説とともに「薬用植物画譜」としてまとめられました。

13年の間には、植物の生命力に驚かされたり、とまどったりしながら描く画家の姿や、植物をベストの状態を提供し続けた多くの人々の努力がありました。また、春の花と秋の実を一つの画面に収めるなどの工夫もされます。こうして描かれた薬用植物画は、植物学的な見方を考慮しながらも、目の前の植物の個性や生命力を見つめた画家の発見や心の動きを感じ取ることができ、植物をモチーフとした絵画とも学問的な植物画とも趣を異にしたものとなっています。

本展覧会は、画譜編集のために書き直した作品を加えた172点の薬用植物画を紹介し、長年にわたる作風の変化をたどりながら、薬用植物画にみる小磯良平の表現の世界をお楽しみください。



テリハノイバラ 1955~66年<前期>



カリン 1964年<後期>



マツリ 1968年<後期>

■ 講演会

10月7日(日)午後2時~3時30分

「薬用植物画と小磯先生よもやま話」

講師: 野口 進氏 (日本製薬株式会社常務取締役)

当館2階絵画学習室にてく定員80名>

当日整理券を配布いたします。

■ 解説会

毎週土曜日午後2時より(約30分)

当館学芸員によるスライド解説

次回展覧会のお知らせ

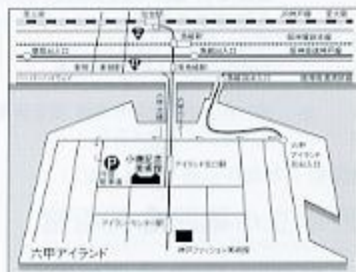
収蔵作品展V

(展示室1 2 3)

挿絵原画展:「積木の箱」(二)

11月17日(土)~2月3日(日)

本館で収蔵する小磯良平の作品を展示します。今回は、収蔵作品展Ⅱに続いて挿絵原画「積木の箱」を約50点紹介します。また、小磯良平が手がけたポスター等を展示します。



交通: 内住吉駅-新神奈川駅間のりかえ六甲ライナー「アイランド」(約15分) 内住吉駅から7分、阪神東横線から徒歩1分 下津西へ徒歩1分 本公園の地下には市営駐車場(有料)が設けられています。